

授業科目名		国際看護学		担当教員	◎恵美須文枝、川上裕子、 兼子裕美
必修	開講年次：3年通年	単位：2単位	授業形態：講義 15 時間、演習 30 時間		

【授業概要】

文化人類学の知識と態度を基盤として、世界の人々の健康と看護職をグローバルかつ文化的な視点から考察する。国際看護組織の活躍と成果、世界各国のプライマリーヘルスケアへの対策と実態、看護職の実態と問題点について外国における訪問国の人々と対話しながら学ぶ。このコースは、本学のキャンパスにおける事前の講義と訪問国における演習から成り立ち、外国の文化とヘルスケア施設の見学や体験活動に参加する。学生は、入学時より準備に入り、この科目に必要な知識を準備して、事後にはレポートをまとめ、クラスでの反省会に出席する。

【授業目的・目標】

1. 異文化に住む人々に対する文化的感受性を高め、その人々の尊厳と文化を重んじる態度を養う。
2. 世界のプライマリーヘルスケアの実態についての見解を広める。
3. 看護職をグローバルな視点から考察し、それに関する問題や解決策について論議する。
4. 学生は、本学が企画した外国における見学と体験活動に参加する。
5. このための事前の計画と準備、事後評価、リフレクション活動に参加する。
6. 異文化の人々との交流に当って、文化人類学的視点と態度を理解し、又学生として適切な旅行マナーに心がける。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| [01] 科目オリエンテーション | (恵美須) |
| [02] 国際看護学概論 | (恵美須) |
| [03] ～ [06] 訪問国の医療と看護・グループワーク | (恵美須・川上・兼子) |
| [07] [08] 訪問国の医療と看護・発表 | (恵美須・川上・兼子) |
| [09] ～ [15] 海外研修 | (恵美須・川上・兼子) |

【教科書】

特に指定しない

毎回の授業で資料を配布する。

【参考書】

特に指定しない

毎回の授業で資料を配布する。

【評価方法・評価基準】

授業の出欠状況、グループワークと成果発表及び、海外研修時の学習態度について、個々の学習状況を判断し、成績の40%に反映させる。海外研修後の提出レポートの成績を60%として最終成績を判定する。

【講義のために必要な事前・事後学習】

海外研修として、選択した訪問国及び、見学施設に関する必読文献を提示するので、開学研修出発までに必ず読んでおく。文献に基づいて、海外研修をお行いその成果をレポートとして、提出する。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅶ. 国際的視野の育成と地域貢献能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

毎回の出欠票に授業の感想・疑問や質問の記載欄を設け、学習者のニーズを把握する。

【備考】